

## 令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	3. 地域教育活動推進事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	1. 社会教育総務費	担当所属	社会教育課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	682	第3章 基本施策4 施策2	心豊かな人づくり、まちづくり	-
							青少年育成の充実	-
							地域とのふれあいを増やします	-
								-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		3,310

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	3,310

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・市内小学生を対象とした宿泊体験事業を実施します。                  ・佐倉市PTA連絡協議会に対し、運営研修会、事務等の支援及び補助金の交付を行います。                  ・佐倉市と連携協定を結んでいる大学及び短期大学で小中学生対象の公開講座を実施します。                  ・市内幼稚園、小学校、中学校の保護者を対象とした家庭教育事業を実施します。</p>	<p>(事業の目的) ・児童生徒の宿泊体験や公開講座を通して、主体性、協調性、社会性の向上等、「生きる力」を育みます。                  ・学校、家庭、地域の三者が連携して組織しているPTA活動団体に対して支援を行い、地域の青少年の健全な育成を図ります。                  ・家庭教育学級の開設や講演会を実施することで、家庭の教育力向上を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ・児童生徒が、様々な学習を体験することにより、主体性、協調性が生まれ、「生きる力」を育む一助となります。                  ・市P連への支援は、学校、家庭、地域を結び、地域の教育力向上にも寄与します。                  ・保護者等が、家庭教育の重要性を認識することで、家庭の教育力向上と青少年の健全育成を図れます。                  ・中学生が講座を通して、命の尊さ、子育ての大切さ等を育みます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・宿泊体験事業や公開講座では、学習内容や会場規模等の条件から希望者全員を受け入れることが困難です。                  ・常にニーズに応じた家庭教育のテーマや講師の設定等、効果的な学習内容を検討、企画していくことが必要です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・事務事業の効率化を図るため、主に幼小中学生やその保護者を対象とし、地域の教育力推進を目的とした事業で、親和性の高い「市民公開講座事業」「家庭の教育力推進事業」及び「子育て講座事業」を統合しました。</p>	<p>(見積りに関する特記事項) ・各事業を精査して、予算については、見直しを図りました。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	767	52	715
10	37	20	17
12	2,006	0	2,006
18	500	500	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	3,310	0	3,310